

A-78 又カ焙焼臭成分-II

トールダム清心女大家政 ○望原賀代子 奥山清美 西堀幸吉

目的 米又カの焙焼臭成分のうちカルボニルおよびアルコール画分の検索。

方法 米又カ焙焼全臭気からカルボニル成分を2,4-D.N.P.H.として分離し、それより再生させた遊離カルボニル画分のH.S.V.をGLC分析して、標品カルボニル類と比べて比較し、同定を行なった。また冷ヘキサン溶液(-75℃)中に捕集した米又カ焙焼全臭気からアルコール成分を3,5-ジニトロベンゾエートとして分離し、それより再生させた遊離アルコール画分のH.S.V.をGLC分析して、標品アルコール類と比べて比較し、同定を行なった。

結果 カルボニル画分から8成分が検出され、アセトアルデヒド、プロピオンアルデヒド(或いはアセトン又はイソブチルアルデヒド)、 α -ブチルアルデヒド、イソバレルアルデヒド(又はメチルエチルケトン)、カプロアルデヒドの5成分を同定した。また、アルコール画分からは4成分が検出され、メチルアルコール(又はイソプロピルアルコール)、エチルアルコール、 α -ブチルアルコールの3成分を同定した。